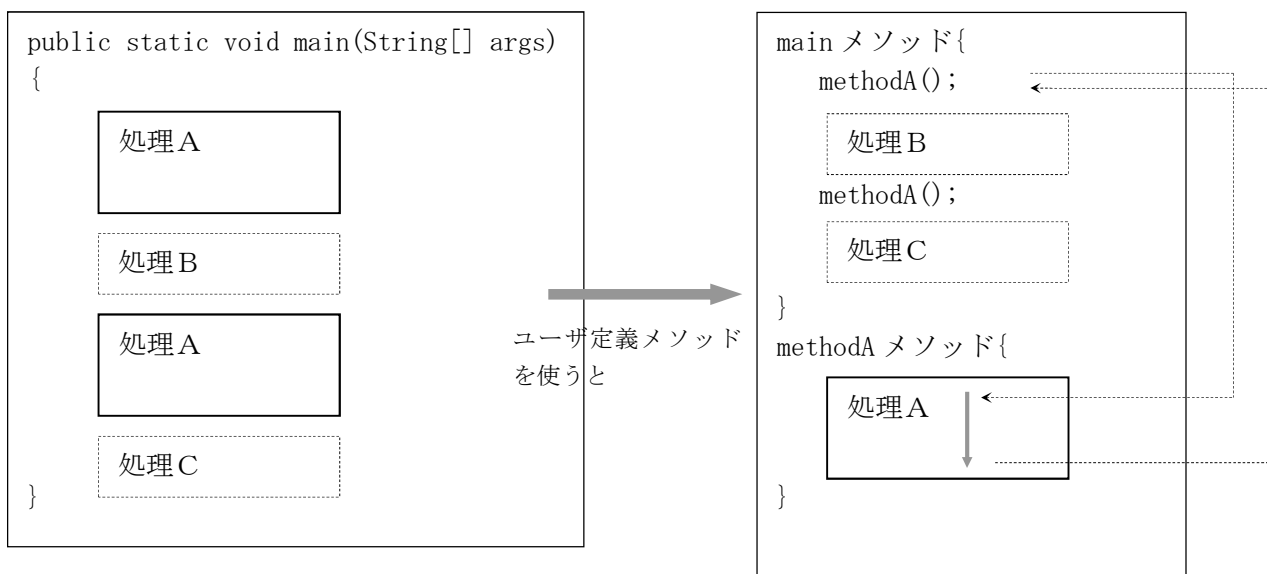


メソッドとは …… 一連の処理（手続き、機能）をブロックとしてまとめたもの

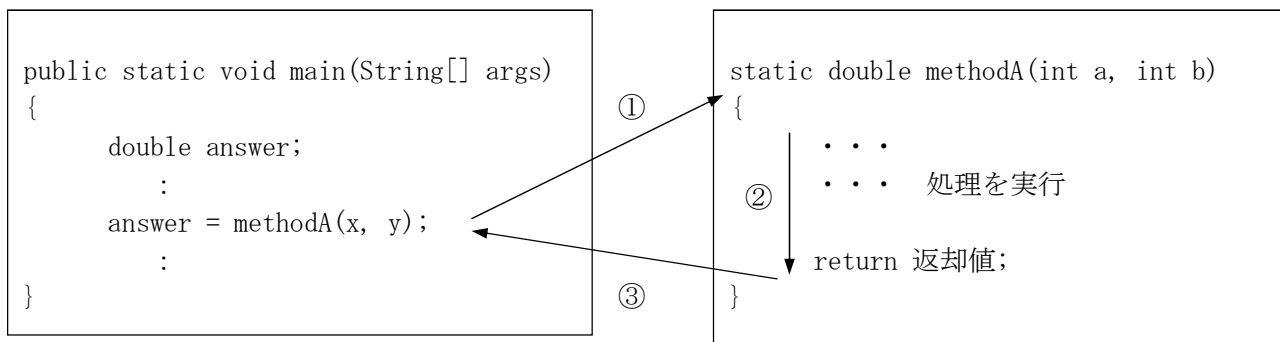
◇ユーザ定義メソッド



◇ユーザ定義メソッドの利点

- ①プログラム内の同一処理（機能）は1回記述すればよい
(重複記述の回避、プログラムサイズの減少、メンテナンス（修正）の効率化)
- ②大規模プログラムにおける機能の分散化
(個別翻訳が可能、開発効率の向上)
- ③機能の相互独立
(外部の関数から変数や配列が独立)
- ④機能の共同利用
(標準ライブラリ関数の利用など)

◇ユーザ定義メソッドの呼び出し



- ①メソッドの呼び出し (x と y を実引数という)
- ②メソッドの本体を実行 (a と b を仮引数という)
- ③return で main メソッドに戻る (値を返却する必要がない場合は return 文を省略できる)

◇ユーザ定義メソッドの例 static 戻り値の型 メソッド名(引数 1, 引数 2…)

- int add(int a, int b); → メソッド名は add、引数が2つ (int 型) で戻り値も int 型
- void display(double x); → メソッド名は display、引数が1つ (double 型) で戻り値なし
- void sort01(); → メソッド名は sort01、引数なし、戻り値なし